サーバー管理をもっとラクに。
サーバー管理ドットコム

サーバー管理代行サービス
導入ガイドブック

サーバー管理を外注する前に知っておくべきポイント

目次

サーバー管理業務を自社で運用している企業では、業務に精通した人材確保が難しいケースがよく見られます。また、多大な採用コストがかかる点も課題です。

こうした課題に対応するため、サーバー管理代行サービスを導入し、管理業務を外注する企業もあります。しかし、単に外注するだけでは大きな効果は見込めません。導入前に外注する目的や業務などを整理することが大切です。

そこで本書では、サーバー管理代行サービスを導入する際に押さえておきたいポイントをご紹介します。

本書の内容が役立つ読者

- ✓ サーバー管理業務を外注したいけど、どうやって選べばいいかわからない
- ✓ 社内の担当者が不在または兼任で、サーバーの運用・監視に手が回らない
- ✓ セキュリティが不安なので専門家に任せたい

etc…

目次

【1章】 サーバー管理代行サービス導入を検討する前に

- サーバー管理業務を自社で運用することによる課題

【2章】サーバー管理代行サービス導入ガイド

- 外注する「目的」と「業務」を整理する
- よくあるサーバー管理を外注する「目的」
- 外注するサーバー管理業務を把握しないと適切に外注はできない
- サーバー管理代行業務チェックシート
- サーバー管理代行サービス選定における3つの比較ポイント

【3章】 キズナ・ジャパンのサーバー管理代行（マネージドサービス）

- サーバー管理代行（マネージドサービス）とは
- キズナ・ジャパンのマネージドサービスが選ばれる3つの理由
- サービスご利用の流れ

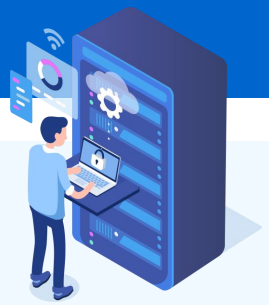
お問い合わせ

Copyright © Kizuna Japan Inc. 2022 All rights reserved.

1章

サーバー管理代行サービス導入を検討する前に

Copyright © Kizuna Japan Inc. 2022 All rights reserved.



サーバー管理業務を自社で運用することによる課題

サーバーの管理業務を自社で行う場合、業務に精通している人材が社内に見当たらないケースがよくあります。総務省の『令和2年通信利用動向調査報告書（企業編）』によると、ICT人材が足りていないと答えた企業は55.4%と半数以上にのぼり、中でもネットワーク技術者が足りていない企業が67.3%という結果になっています。特にサーバーの管理業務は、障害発生時などに長時間労働せざるを得ないため、**人材の採用が難しく、仮に人材を確保できたとしても、長時間労働による退職リスクの高さなどが課題**です。

こうした課題に対処するため、サーバー管理の外注（アウトソーシング）を検討する企業も見られます。しかし、単にサーバー管理代行会社に任せるだけでは根本的な問題解決にはつながりません。

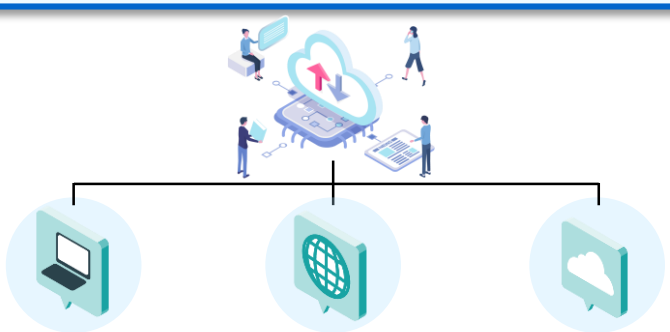
サーバー管理業務を自社で行うデメリット

採用コストがかかる

離職率が高くなる

サーバー管理に精通する人材の確保が難しく
長時間労働により離職率が高くなることが大きな課題

アウトソーシングで課題を解消！



運用代行　セキュリティ対策　サーバー管理

サーバー管理のプロに外注することで
あらゆる課題を解消できる

▶次章では、サーバー管理代行サービスの導入のために知っておくべきポイントをご紹介します。

Copyright ©　Kizuna Japan Inc.　2022 All rights reserved.

2章

サーバー管理代行サービス導入ガイド

Copyright © Kizuna Japan Inc. 2022 All rights reserved.

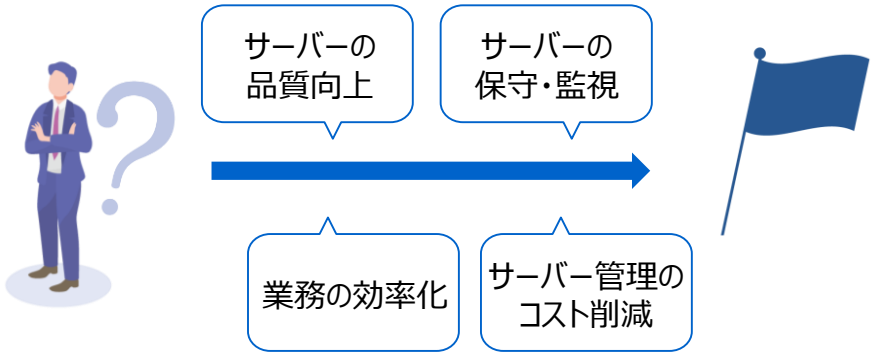
外注する「目的」と「業務」を整理する

サービスの導入前にまず、**サーバー管理を外注する際の２つのポイント**を押さえて整理することが重要です。

1つ目は、外注する**「目的」の整理**です。外注により何を実現したいのか、そのゴールを決めておくことで、自社に最も適した外注先を選定できます。その際、外注しない場合にはどのような問題が生じるのか、事前に洗い出しておくことが大切です。

2つ目は、外注する**「業務」の整理**です。サーバーの管理（運用・保守）には、クライアントPCの管理やネットワーク管理、ウイルス対策などさまざまな業務があります。外注先によって得意とする業務やコストなどに違いがあるため、外注したい業務を明確にしておくことで自社に合った外注先を選定できます。

ポイント① 外注する目的の整理



ゴールを設定し、そこに至るまでの課題を洗い出す

ポイント② 外注する業務の整理

課題解決のために外注したい業務を明確にしておく

自社に最適な外注先を選定することができ、契約後のミスマッチをなくすことができる

Copyright © Kizuna Japan Inc. 2022 All rights reserved.

よくあるサーバー管理を外注する「目的」

サーバー管理を外注する際によくある目的は、**「運用の品質向上」「効率化」「コストダウン」**の3つです。この3つの目的から、課題を細かく分類し、優先して達成すべき事項を把握することが重要です。**優先すべき事項によってサーバー管理を外注するべきか、しないか社内で検討しましょう。**

運用の品質向上

- サーバーがすぐに落ちるなどのトラブルが多い状況を解消したい
- セキュリティに不安がある状況を解消したい
- 社内NWを止めたりしなくてもいいよう、発生後素早く対応したい
- 原因究明や問題切り分けなどで時間がかかり復旧に取り掛かるまでのタイムロスをなくしたい

効率化

- 複数業者に依頼している委託先を一本化したい
- 情シスの担当者がサーバー管理を兼務している所を依頼して、本来の業務に割ける時間を増やしたい

コストダウン

- 情シスの人件費
- 現在のサーバー運用費
- 代行費用

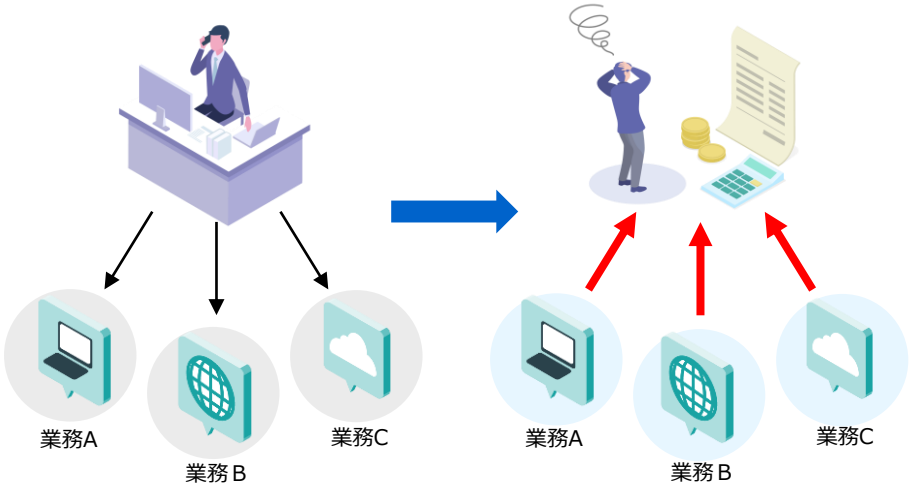
Copyright © Kizuna Japan Inc. 2022 All rights reserved.

外注するサーバー管理業務を把握しないと適切に外注はできない

本章冒頭で触れた通り、サーバー管理代行サービスを導入する際には、**サーバー管理業務を整理・把握する必要**があります。業務を適切に整理できていないと、本来外注する必要のない業務や優先順位の低い業務も代行サービスに委託することになり、**無駄なコストが発生**してしまいます。また、外注する業務を絞れていないと、さまざまな業務に対応できる代行サービスを選ばなくてはならないため、選定の手間が余分にかかってしまうことも考えられます。

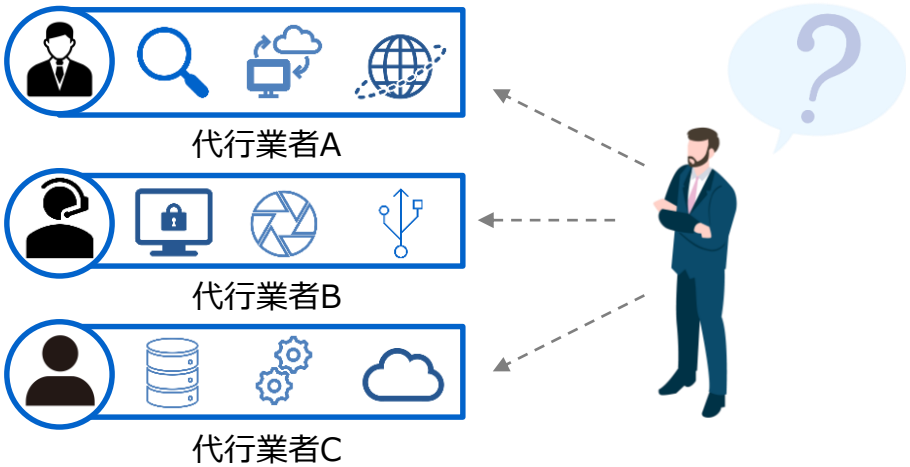
サーバ管理業務が把握できていないことによる課題

コストが高くなる



本来外注する必要のない業務を発注してしまい無駄なコストが発生する

代行業者の選定に時間がかかる



代行企業が対応できる業務はさまざまであり外注業務が絞りきれていないと選定に時間がかかる

Copyright © Kizuna Japan Inc. 2022 All rights reserved.

サーバー管理代行業務チェックシート

サーバー管理代行業務は、主にサーバー、ネットワークの**「構築」「運用」「保守」「監視」**の4項目に分かれます。以下のチェックシートをもとに、外注する業務を洗い出しましょう。

検討項目	実施項目	☑
構築	アカウントの追加、変更、削除やアカウントごとのアクセス権追加、変更、削除	
	ソフトウェアのインストール、設定変更	
運用	OSやミドルウェアのバージョンアップ・パッチ適用	
	バックアップを取り、もしもの場合のリストア	
	OS及びプロセスの再起動、設定変更	
保守	トラブル発生時における原因調査、対策案の策定、対策の実施	
	法定停電に備えたバックアップや電源断、起動、動作確認	
	ハードウェアの保守期限管理、更新、保守運用にかかわる手順書、マニュアルの整備	
	導入OSやソフトウェアの脆弱性情報の確認	
監視	障害を起こさないためのログ内容のチェック、不正アクセスの調査、定期的な死活監視	

Copyright © Kizuna Japan Inc. 2022 All rights reserved.

サーバー管理代行サービス選定における3つの比較ポイント

外注する目的・サーバー管理業務が整理されたのち、代行サービスの選定を行っていきます。

代行サービスを選定する際には以下3つのポイントを押さえることが重要です。

初期費用とランニングコストのバランス

サーバー管理代行サービスには導入に必要な初期費用と維持や運用のためのランニングコストの2種類の費用がかかるため、この2つの費用のバランスを考慮して選定することが重要です。また、**初期費用がかからないことも多いため軽視しがちですが、導入後に予期せぬ問題点が潜んでいたり、知らないシステムが見つかったりするケースもありますので、事前に導入調査を行い検討しましょう。**円滑な運用・保守を行うためにはマニュアルやネットワーク図などの準備も必須です。

対応の範囲と柔軟さ

サーバーは基本的に24時間365日稼働しているため、トラブルはいつ生じるかわかりません。システムトラブルが起こった際に、**稼働が止まらないよう夜間や休日を問わず迅速に対応**できるか、**一次対応から二次対応まで実施可能か**といった点を確認することが重要です。

機密情報の取扱いについての信頼度

サーバーの管理代行は社内の機密情報に代行会社がアクセスしているため、**情報漏洩に対して細心の注意を払っている信頼度の高い外注先を選定するべき**です。しかし、どんなに細心の注意を払っていたとしても、情報漏えい事故を無くすことはできません。そのため、**情報セキュリティに関する公的な資格や認証（ISMSなど）を持つ外注先を選定**するのが理想です。

▶次章では、キズナ・ジャパンがご提供するサーバー管理代行サービスをご紹介します。

Copyright © Kizuna Japan Inc. 2022 All rights reserved.

3章

キズナ・ジャパンのサーバー管理代行（マネージドサービス）

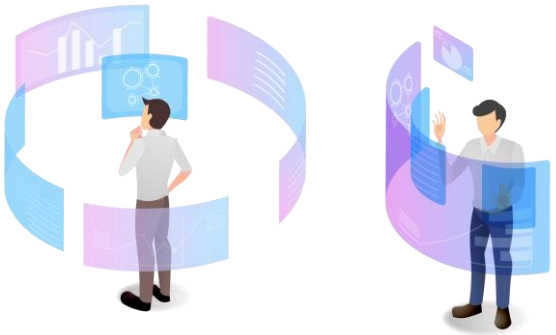
Copyright © Kizuna Japan Inc. 2022 All rights reserved.

サーバー管理代行（マネージドサービス）とは

キズナ・ジャパンが提供しているサーバー管理代行は、**ITインフラ（情報システム）の構築・設計・運用を一括して請け負う**マネージドサービスです。当サービスを利用することで、お客様のサーバーやネットワークシステム、クラウドの管理、運用、トラブル発生時のトラブル対応などを、専任のエンジニアが24時間365日代行します。ご予算とご状況に応じて運用内容のフルカスタマイズも可能ですので、**IT業務のアウトソーシングに最適**です。

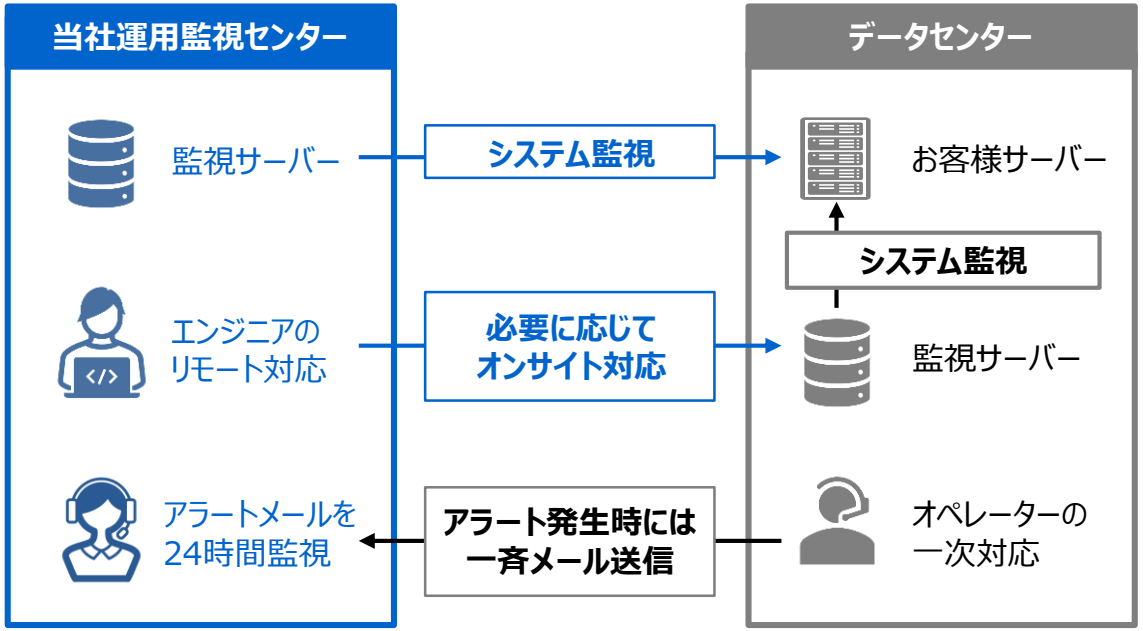
マネージドサービスとは？

サーバーやネットワークシステムの管理、運用、トラブル発生時のトラブル対応などを一任するサービスの名称です。フルマネージドサービス、MSPと呼ばれることもあります。



当社では**専任エンジニアによる移行・導入から24時間365日の監視、管理、運用、保守までITインフラに関わるサービス**を提供しています。
ご予算・状況に応じた運用内容の**カスタマイズも可能**です。

運用・監視体制相関図



Copyright © Kizuna Japan Inc. 2022 All rights reserved.

キズナ・ジャパンのマネージドサービスが選ばれる3つの理由

キズナ・ジャパンのマネージドサービスが選ばれる理由の1つとして**24時間365日対応**があります。監視・一次対応に加え、専任エンジニアがお客様のサーバーやネットワークシステムの管理・運用を常時代行します。また、リモートでの対応が難しい場合、専任のエンジニアが現地に**駆けつけるオンサイトサービスをご用意**しています。さらに、お客様のニーズに応じてフルカスタマイズでのご提供ができ、**高品質な運用サービスを安価**に利用できます。

キズナ・ジャパンが選ばれる3つの理由

24時間365日対応

「監視・一次対応」サービスに加え、必要に応じて**24時間365日**、専任のエンジニアが社内サーバーやネットワークシステムの管理運用を代行します。

駆けつけサービス

サーバーやネットワーク機器でリモートによる対応が出来なくなった場合、専任エンジニアが現地に駆けつける**オンサイトサービス**もご用意しています。

投入しやすい価格帯

サーバーやネットワークの組み合わせをフルカスタマイズで導入しやすい価格帯からご提供が可能なので、**高品質な運用サービスを安価に**利用できます。

Copyright © Kizuna Japan Inc. 2022 All rights reserved.

サービスご利用までの流れ

キズナ・ジャパンはお問い合わせいただいたのち、訪問・電話でのヒアリングを通して、**お客様の要望や問題点などを洗い出すため、最適なご提案を行うことができます**。契約締結後は社内の専門エンジニアがサーバーやネットワーク構成、環境の調査を行います。このような徹底したサポートのもと運用を開始いたしますので、ぜひご検討ください。

ご利用までの流れ

1 お問合せ

お電話またはメールフォームよりお問い合わせください。

2 訪問・電話ヒアリング

営業担当と専門エンジニアがお客様のご要望や現状の問題点などを伺います。

3 提案～契約締結

提案と御見積を提示し、商談がまとまりましたら契約を締結します。

4 運用開始

専門エンジニアがサーバーやネットワーク構成、環境の調査を行い運用を開始します。

Copyright © Kizuna Japan Inc. 2022 All rights reserved.

本資料についてのお問い合わせやご相談は下記までご連絡ください。

サーバー管理をもっとラクに。
サーバー管理ドットコム

URL

https://www.server-kanri.com/contact/

TEL

03-6280-5390（受付時間 平日10:00～17:00）

Copyright © Kizuna Japan Inc. 2022 All rights reserved.